

Press Release

2025年12月15日

各 位

住友ファーマ株式会社

CDP2025「気候変動」分野において2年連続で最高評価となるAリストに選定

住友ファーマ株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:木村 徹)は、このたび、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを運営する非営利団体であるCDPより、気候変動に対する取組および対策が評価され、CDP2025「気候変動」において最高評価に相当するAリストに2年連続で選定されましたのでお知らせします。



当社グループは、「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する」という理念の実践により、持続可能な社会の実現に貢献し持続的な企業価値向上につなげることを「サステナビリティ経営」と定義しており、サステナビリティ経営の重要課題(マテリアルイシュー)の一つとして「環境への取組の推進」を掲げています。

気候変動などの環境問題は人々の健康で豊かな生活を脅かす地球規模の重大な課題であり、当社グループは引き続き温室効果ガス排出量削減をはじめとした環境への取組によって環境問題の解決に貢献するとともに、持続可能な社会の実現に貢献し、持続的な企業価値の向上につなげます。

当社の環境に関する取組については、こちらをご覧ください。

<https://www.sumitomo-pharma.co.jp/sustainability/environment/>

(ご参考)

CDPについて

CDPは、世界で唯一の独立した環境情報開示システムを運営するグローバルな非営利団体です。企業、金融、政策、科学のリーダーと協力し、アースポジティブな意思決定を可能にする新しい情報を提供しています。

CDPの詳細については、こちらをご覧ください。 <https://www.cdp.net/ja>

以上

○本件に関するお問い合わせ先

住友ファーマ株式会社

コーポレートガバナンス部 コーポレートコミュニケーショングループ

E-mail: prir@sumitomo-pharma.co.jp